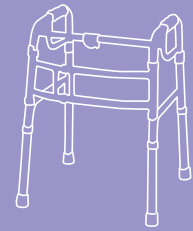


歩行器ガイド



歩行器は四脚のフレーム構造で、足腰の筋力が低下して自立歩行が困難な方が体重を支えながら移動するための福祉用具です。歩行補助杖よりも支持性が求められる際に使用されます。道具を利用して安全に歩行するためには、ご利用者さまの体力や身体機能に適したものを選ぶことが大切です。

歩行器



持ち上げ型歩行器

歩行方法は、両手で歩行器を持ち上げ前に置き、グリップに体重を支えてから患側・健側の順で足を出す三動作歩行で、比較的動作学習がしやすい歩行方法です。折りたためない固定型歩行器と折りたたみができる折りたたみ型歩行器があります。また二段式のグリップで椅子やトイレからの離着席をサポートできる機種もあります。基本的に室内用です。



キャスター付き歩行器

前脚のみ、あるいは四脚(※)にキャスターが付いたものです。いずれもキャスターを滑らせて使用しますが、体重をかけるとストッパーが作用して固定されます。歩行器を前に振り出す時、上肢や体幹の筋力が弱くて歩行器を持ち上げるのが困難な方に向いています。基本的に室内用です。

※現在、四輪キャスタータイプはお取り扱いがありません

交互型歩行器 (現在お取り扱いがありません)

左右のフレームが個々に動かせるので、歩く時には左右交互に動かし、右側の歩行器・左足・左側の歩行器・右足の4回の動作の歩行となります。この歩行動作の方が固定型に比べて難しい動作です。比較的、四肢の筋力低下の方に向いています。基本的に室内用です。

歩行車



四輪歩行車

多くの機種において前輪は360度回転する自在輪、後輪は固定輪で、軽く押しながら歩行することが可能です。ハンドグリップには手動ブレーキが付いているのでブレーキをかけながらスピードを調節することができます。また、より安定した歩行が可能な、肘を置いて前方で操作する前腕支持型歩行車もあります。疲れたら座ることができる座面が付いているものもあります。多くの機種が屋内外で使用できます。



馬蹄型歩行車

多くの機種において車輪はすべて360度回転する自在輪か、あるいは設定によって自在輪です。フレーム上部のU字形のパッドで前腕部を支持しながら歩行をサポートします。足腰が弱った方の歩行訓練やリハビリ用としても使用されています。前腕支持型歩行器とも呼ばれます。基本的に室内用です。

シルバーカーと歩行車との違い

介護保険対象外のシルバーカーは、介護保険対象である歩行器(歩行車)と一見よく似た商品ジャンルですが、両者には明確な違いがあります。シルバーカーは歩行器のように歩行困難な人が使う用具ではなく、自立歩行が可能な人が買い物などの際の荷物の運搬や比較的長距離を歩く際の休憩に用いるための用具です。歩行器のように支持面の中に身体を入れるような構造になっていないためにグリップへの体重の負荷が不十分で歩行を安定させるための支持力を有していません。